

新たなフェーズに移行する太陽光発電 ~法改正後の現状とポストFITを見据えた戦略~

日経産業新聞 NIKKEI BUSINESS DAILY FORUM フォーラム

自立化に向けた取り組みが急務に

太陽光発電事業は、昨年施行された改正FIT法により転換期を迎えた。蓄電池の活用や自家消費へのシフトなどポストFIT(固定価格買い取り制度)を見据えた戦略が求められている。...



基調講演 再生可能エネルギー政策の今後の展望 ~太陽光を中心に~ 山崎 琢矢氏



再生可能エネルギーは世界の主力電源として根付いてきた。太陽光・風力ともに10円以下の売電契約が広がるなど、競争力のある電源になったことが普及を後押ししている。

主力電源化のために 必要な対策実施を急ぐ

我が国は2030年度に再生可能エネルギーを全電源の22~24%にする目標を掲げている。12年のFIT開始以降、全電源に占める再生可能エネルギーの割合は5%増の15%となった。

特別講演

浜松版スマートシティの実現に向けてスマートシティの担い手 浜松新電力 浜松市産業部エネルギー政策課 副参事・課長補佐 江馬 正信氏



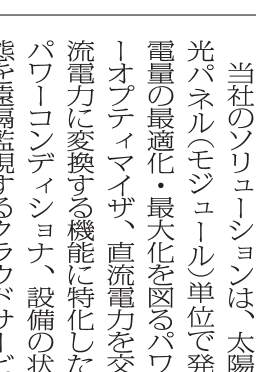
2011年に市制100周年を迎えた浜松市は、伊豆半島とほぼ同じ面積を誇る政令指定都市だ。ものつくりが盛んで、市内の総電力消費量は年間約540万kWhに上る。

新電力を軸に推進する エネルギーの地産地消

「浜松市エネルギービジョン」を策定し、浜松版スマートシティを目指している。その中で再生可能エネルギーと分散型エネルギー(熱電併給)による電力自給率の目標を30年度に20.3%と設定した。

ポストFIT太陽光発電を最適化する パワーコンディショナ・ソリューション

ソーラーエッジテクノロジージャパン アシスタントディレクター、テクニカルマーケティング 永沢 健氏



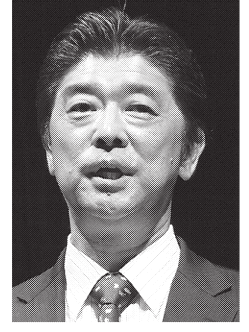
パネル単位の最適化で 無駄のない運営支援



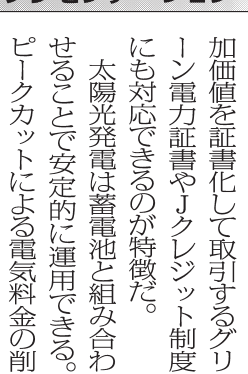
当社のソリューションは、太陽光パネル(モジュール)単位で発電量の最適化・最大化を図るパワーコンディショナ、直流電力を交流電力に変換する機能特化したパワーコンディショナ、設備の状態を遠隔監視するクラウドサービスで構成する。従来のようにシステム(太陽光モジュール)の接続構成単位ではなく、モジュール単位で制御するのが特徴だ。

太陽光自家消費モデルを実現する ソリューションのご紹介

エナジー・ソリューションズ代表取締役 森上 寿生氏



蓄電池の有効活用で 安定性と調整力向上



太陽光発電を自家消費するメリットは、電気料金の削減と環境負荷の軽減にある。再生可能エネルギー発電促進賦課金に引き継がれた電気料金は上昇しているが、買い取り価格は下落している。...

電気は買う時代から「作る」時代に 自家消費ニーズに応えた最適ソリューション

Loop EPC事業本部 営業部長 後藤 公一氏



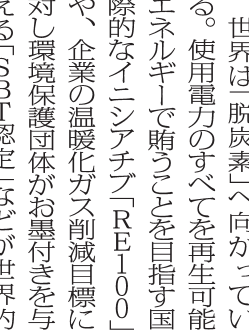
ポストFITでは、自家消費が重要なキーワードになる。そこで当社は、事業者向けに「MY自家消費セット」ソリューションを始めた。太陽光発電に必要な太陽光パネル、パワーコンディショナ、架台、Loopでんきをセットで提供する。設備の監視・保守サービスや蓄電池もオプションで利用可能だ。

導入費用を抑えて 自家消費の利点享受

「MY自家消費セット」導入の利点は多い。自家消費により購入電力の使用量を年間20~50%削減可能。自家消費で賄えない電気はL

「脱炭素社会」に向けて企業が取り組めること エネルギー合理化ソリューションによる社会貢献・経営基盤強化

オムロンフィールドエンジニアリング エネルギーマネジメント事業本部 E.M商品部 E.M商品2課 佐々木 崇氏



世界は脱炭素へ向かっていく。使用電力のすべてを再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブ「RE100」や、企業の温暖化ガス削減目標に対し環境保護団体がお墨付きを与える「SBT認定」などが世界的に広がっている。...

エネルギー賢く使い 環境貢献と成長両立



自家消費では発電した電気をいかに合理的に賢く使うかがテーマだ。当社はエナジー・ソリューションズ企業として、様々なエネルギー使用の合理化提案ができる。顧客企業の環境貢献と持続的な成長を支援していきたい。

広告

協賛: solar edge, エナジー・ソリューションズ株式会社 ENERGY SOLUTIONS Inc., Loop, オムロン フィールドエンジニアリング株式会社

企画・制作=日本経済新聞社 クロスメディア営業局